

# 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		情報指令課
	03	05	01	02	01	

政策
119番通報・消防通信設備の適切な運用

## 政策の内容

119番通報に対して迅速的確に対応するため、より災害に強い消防通信ネットワークの強化及び運用を図ります。

## 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

## 現状・課題

- ・指令管制や無線システムなどの指令管制機能の維持や向上に関する調査研究を行い、現システムを熟知し、的確な運用に努めるための訓練や研修を進める必要がある。また、指令管制に関する先進的な技術について性能やコストなどを調査し導入の可否などについて検討を進める必要がある。
- ・消防救急デジタル無線システム再整備事業は、無線不安定エリアの改善や通信ネットワークの強化を図り、2028年度に新たな消防救急デジタル無線システムの運用が開始できるよう必要な準備や調整を計画的に進めている。
- ・指令管制員の対応能力向上のための研修を実施しさらに指令管制員の応急手当口頭指導技術を向上させることで、応急手当実施率のさらなる向上を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	351,977	319,499			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	32.0	32.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	1.0	1.0			
再任用職員(31時間勤務)	1.0	1.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
消防指令センター機能維持管理事業	指令管制システム及び消防救急デジタル無線システム等の維持管理を行う。	268,735
消防指令システム等整備事業	消防指令システムのネットワーク、機器等の改修整備を行う。	24,849
消防情報・消防OA基盤整備事業	消防業務に使用するOA機器の体制強化及び維持管理を行う。	25,791
消防救急デジタル無線システム再整備事業	消防救急デジタル無線システムの再整備工事を行い、無線不安定エリアの改善、消防団との連絡体制強化、バックアップ通信網強化等を図る。	124

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
				指令管制員の操作・聴取技術のスキルアップ研修の実施数(回)	指令管制員を対象としたスキルアップ研修の一人当たりの受講件数とする。	スキルアップ研修の受講状況を図る指標であり、指令管制員の口頭指導技術の向上に寄与すると見込むもの。	目標値	-	3
			実績値	2	2026年5月確定				
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
スキルアップ研修目標の達成度(%)	指令管制員が心肺機能停止と判断し通報者等に口頭指導(通報者等が心肺蘇生法を理解している場合も含む)を行った事案における応急手当(心肺蘇生法又は心臓マッサージなど)実施率	指令管制員の口頭指導技術等の向上により、市民等の応急手当実施率が向上すると見込むもの。	目標値	-	52	52	52	52	52
			実績値	51	2026年5月確定				
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
救急現場における市民による応急手当実施率(%)	○	1年間に市内において、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	実績値	50.6	2026年5月確定					60
			達成率	84.3%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも市民の安全・安心を守っている。

## 【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載